

概要版

第6次吉岡町総合計画

2022 ▶ 2031

群馬県 吉岡町

あいさつ

「みんなで創ろう住み続けたいまち よしおか」。

私は、平成31年4月の就任以来、その実現に向けて、住民目線の町政運営を進めてまいりました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の発生は、これまでの常識を大きく変化させ、新たな生活様式や従来になかった危機への備えなど、新しい価値観をもたらしました。

ここで重要視すべきことは、コロナ禍により気づき、気付かされたことを今後どのように町政に活かしていくか、この大きな社会変化を町の将来にどのように反映していくかとなります。

本町は、本格的な人口減少社会のなかにあっても、その恵まれた立地や広域的なアクセスの良さ、商業施設など買物の場が充実した日常生活の利便性から人口増加を続けており、多方面で住みやすい町として注目されております。

しかし、いずれ本町にも人口減少の波は訪れます。だからこそ、原点に立ち返り、現状分析から堅実な将来展望のもと、一步一步事業を推進し、足元を固めていくことが必要となります。

その道筋となるのが、第6次吉岡町総合計画であります。

本計画は、新たな時代潮流や本町の強みと課題を踏まえ、持続可能なまちづくりの指針となるよう、策定を進めてまいりました。

これからの10年間は、これまで築きあげられてきた姿を継承し、町のあるべき姿をより確かなものにしていくため、将来像を「思いを紡ぎ、未来につなげるまちづくり 吉岡」と掲げ、その実現に向けて全力で取り組んでまいります。

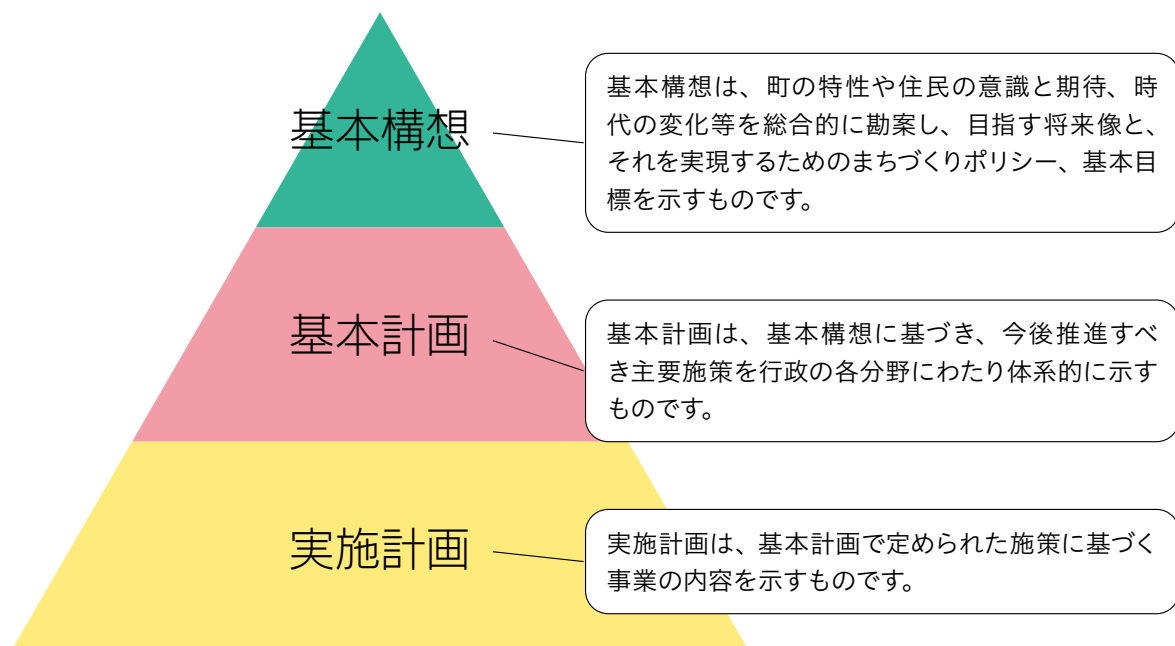
本町は、平成3年の町制施行から30年を迎えることができました。今後におきましても持続的な発展を見据え、すべての住民が多様性を受け入れる風土と郷土愛を育む心を持ち得ることができるよう、町のブランド力向上に邁進してまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、ご協力をいただきました多くの皆様に心より感謝申し上げますとともに、今後の一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。

吉岡町長 柴崎徳一郎

計画の構成

総合計画は、今後のまちづくりの方向性と実現に向けた施策を体系的に示す、最も重要な計画です。基本構想、基本計画及び実施計画により構成されます。



吉岡町の動き

①人口が増加する町

国勢調査による令和2年（2020年）の人口は21,792人で、昭和40年（1965年）以降、人口増加が続く全国的にも数少ない自治体の一つです。

都市計画道路などの道路網の整備が進むとともに、駒寄スマートインターチェンジの大型車両の供用開始により、これまで以上に産業の活性化、観光の振興等が見込まれるなど、さらなる生活の利便性向上が期待されます。

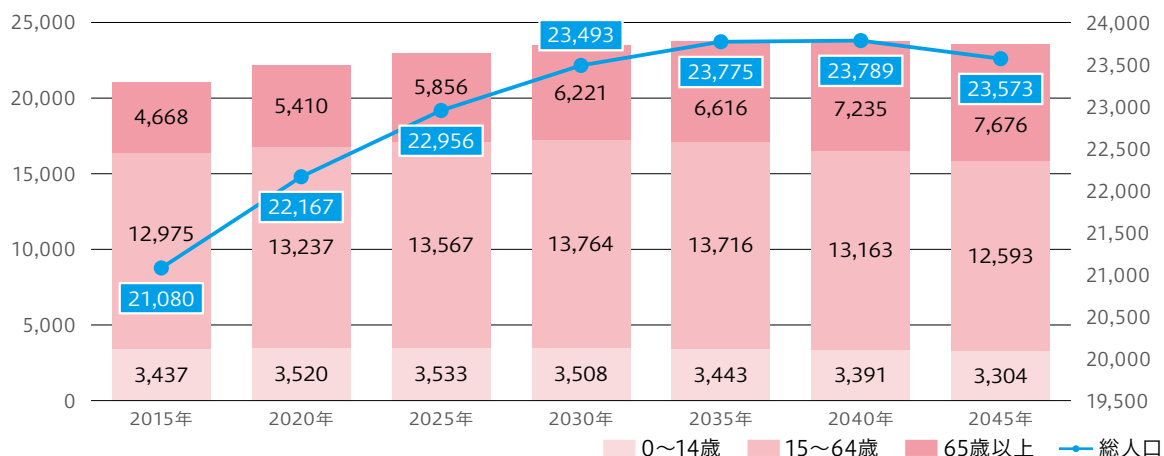
	面積 (km ²)		世帯数 (世帯)		人口総数 (人)		5年間の人口増加数 (人)		5年間の人口増減率 (%)		一世帯当たり人員 (人)		人口密度 (1km ² 当たり) (人)	
吉岡町	20.46	33	7,863	16	21,792	16	712	5	3.38	1	2.77	4	1,065.1	7
渋川市	240.27	11	29,114	7	74,581	7	-3,810	33	-4.86	18	2.56	12	310.4	17
榛東村	27.92	30	5,116	21	14,216	19	-113	7	-0.79	6	2.78	3	509.2	11
前橋市	311.59	7	141,882	2	332,149	2	-4,005	34	-1.19	7	2.34	28	1066.0	6
高崎市	459.16	2	160,981	1	372,973	1	2,089	3	0.56	5	2.32	30	812.3	9

資料：令和2年国勢調査
■は県内35市町村の順位

②人口の将来展望

国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」によると、本町の将来人口は2040年の23,789人をピークに増加傾向で推移し、その後減少に転じることが予測されています。

また、人口割合をみると、2040年には65歳以上が30%を超え、0～14歳と15～64歳は割合が減少し、今後も少子高齢化は進んでいくことが予測されています。



※国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」から作成

世の中の動き

我が国を取り巻く様々な課題や環境変化に積極的に
対応していくことが求められます。

脱炭素社会
単身高齢者の増加
マイナンバー 職員減少 地球温暖化
生涯活躍推進 耕作放棄地 スマート農業※1
担い手不足 ワーク・ライフ・バランス
異常気象 空き家・空き店舗
関係人口 豪雨
地震 LGBTQ+※2
テレワーク 子育て・介護と就労の両立
再生可能エネルギー
地方創生 福祉人材不足
ダイバーシティ※3 商業の衰退 貧困
雪対策 女性活躍推進
見守り活動

行財政



- ◆ インフラ(道路や公共施設等)の老朽化
- ◆ 公共交通の利便性低下
- ◆ 医療や福祉にかかる費用の増大
- ◆ 人口減少により税収の低下
- ◆ 自治体DX※4の推進
- ◆ 電子申請・電子決裁

安全・安心



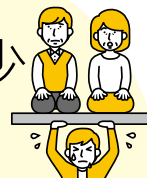
- ◆ 災害や犯罪の多様化
- ◆ 消防・救急体制の広域化
- ◆ 医師不足と広域医療連携
- ◆ 空き家が目立つように
- ◆ 要介護状態になっても、介護職の不足で介護施設に入れない状態
- ◆ 新型コロナと新しい生活様式



第4次産業革命

- ◆ AI※5・IoT※6・ビッグデータ等の最新情報技術が飛躍的に発展
- ◆ 生活の様々な面で便利になる可能性
- ◆ 通信基盤の強化とそれを使いこなす必要性の高まり

人口減少



- ◆ 全国的な人口減少
- ◆ 少子高齢化が進み、様々な所で担い手不足が深刻化
- ◆ 子育て世代の減少が深刻化
- ◆ 子どもの数が減少し、学校の統廃合が進展

SDGs ※7



- ◆ 自然災害や差別、貧困などが世界的に深刻化
- ◆ 17の国際目標に向けた取組強化
- ◆ 国だけでなく、自治体における取組の推進の必要性

労働力不足

- ◆ 労働力不足が深刻化
- ◆ 人口減少に伴い市場規模が縮小すると、事業所の撤退等の可能性
- ◆ 働き方改革によって多様な働き方が可能に
- ◆ 跡継ぎ問題
- ◆ 外国人労働者が増加



※1 ロボット技術や情報通信技術を活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現する等を推進している新たな農業のことです。日本の農業技術にスマート農業を活用することにより、農作業における省力・軽労化を進めることができるとともに、新規就農者の確保や栽培技術の継承等が期待されます。

※2 レズビアン(女性同性愛者)、ゲイ(男性同性愛者)、バイセクシュアル(両性愛者)、トランスジェンダー(生まれた時の性別と自認する性別が一致しない人)、クエスチョニング(自分自身のセクシュアリティを決められない、分からない、又は決めない人)、プラス(ほかの様々な性)など、性的少数者の方を表す総称の一つです。

※3 性別、人種、国籍、宗教、年齢、学歴、職歴など多様性のある状態のことを指します。

※4 ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面で良い方向に変化させることです。

※5 「Artificial Intelligence」の略称で、日本語では人工知能を指します。

※6 「Internet of Things」の略称で、日本語ではモノのインターネットと呼びます。

※7 「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。

これから踏まえるべき 新たな視点

(1) 2040年の姿

①スマート自治体^{※8}への転換

AIやロボティクス等最新技術の活用と、自治体行政の標準化・共通化の推進により、仕事の仕方を劇的に変革し、少数の職員でも公共サービスを維持していく必要があります。

②公共私による暮らしの維持

人口減少と高齢化の進展は、家族の縮小と孤立化に影響し、暮らしを維持する力が低下していくことが懸念されます。従来の地域社会や家族が担ってきた領域において、暮らしを支える担い手を確保していく必要があります。

(2) 誰一人取り残さない持続可能な開発目標 SDGs

SDGsは、17のゴール・169のターゲットから構成されます。今後における施策の企画・立案・実行の各プロセスにおいて、SDGsの理念に配慮した施政運営に努めていく必要があります。



(3) デジタル社会への加速化

① Society5.0^{※9}

Society5.0で実現する未来を思い描きながら、住民の利便性向上に向け、整備すべき情報化基盤を導入し、情報化施策に取り組んでいく必要があります。

② DX (デジタルトランスフォーメーション)

行政手続のオンライン化をはじめ、「すぐ使えて」、「簡単で」、「便利な」行政サービスを実現させるための取組を加速させていく必要があります。

(4) あらゆる危機への備え

ウイルス・感染症等への対応

未知なるウイルス・感染症等に対して、住民の安全と安心の確保に努めていく必要があります。

防災・減災の取組

住民の生命と財産を守るため、防災・減災体制のさらなる強化を推進していく必要があります。

国土強靱化の必要性

自然災害時の被害が致命的にならないようにする「強さ」と、受けた被害から迅速に回復する「しなやかさ」を平時より構築していく必要があります。

脱炭素社会への取組

環境省は、「ゼロカーボンシティ」の表明を全国の自治体へ呼びかけており、こうした動向を踏まえた行動を起こしていく必要があります。

※8 システムやAI等の技術を駆使して、効果的・効率的に行政サービスを提供する自治体のことです。

※9 仮想空間と現実空間を高度に融合し、経済発展と社会的課題の解決を両立する社会です。

吉岡町を 取り巻く情勢

アンケート、ワークショップ、世の中の動き、これから踏まえるべき新たな視点、町の状況分析から吉岡町を取り巻く情勢を以下のようにまとめます。

まちづくりに生かすべきまちの強み

恵まれた立地条件を有するまち

県下で人口増加率が最
着実に人口増加を続ける

道路ネットワークの形成が進み、
広域的なアクセスが良いまち

身近な自然にふれることの

商業施設などの買い物の場が充実した、
日常生活の利便性の高いまち

特色ある観光・交流資源

世の中の動き

第4次産業革命

SDGs

安全・安心

労働力不足

人口減少

行財政

これから踏

デジ

これから対応すべき課題

都市基盤分野

- ◆ 適正な土地利用の推進
- ◆ 公共交通の利便性向上
- ◆ 道路の整備
- ◆ 空き家対策の推進

産業分野

- ◆ 駒寄スマートIC周辺への企業の誘致
- ◆ 商業地の計画的な誘導と観光商業の振興
- ◆ 農業の活性化と農地の保全

福祉分野

- ◆ 地域共生社会の実現
- ◆ 子育て支援の充実

教育分野

- ◆ 将来の社会の変化を見据えた教育

行財政分野

- ◆ 計画的な行財政運営
- ◆ 公共施設等の効果的・効率的な管理運営

アンケート

73.7%が吉岡町に
愛着を感じていると回答!

83.2%が吉岡町に
住み続けたいと回答!



ワークショップから

も高く、
若いまち

できるまち

のあるまち

- 利根川サイクリングロード
- 城山みはらし公園
- ICT教育
- 環境の静けさ
- 文化財が多い
- 買物の利便性
- 地域住民の交流
- あいさつをしてくれる人の多さ
- 道路交通の利便性
- 野菜・果物関連
- 若年層人口の増加
- 活発なスポーツ活動

まえるべき新たな視点

2040年の姿

誰一人取り残さない持続可能な開発目標

タル社会への加速化

あらゆる危機への備え

ワークショップから

- 街灯の少なさ
- 高齢者の交通手段の不足
- 横のつながりや集まりの不足
- 公園の整備
- ごみの出し方のマナーの悪さ
- 名物や特産品
- 通学路の整備
- ボランティア・地域活動関連の活動の人材確保の困難
- 避難所に対する不安
- 働く場所の不足
- 治安面の不安



吉岡町のまちづくりの 目指す姿

(1) 吉岡町の将来像

吉岡町は、恵まれた自然と歴史のもと、先人により築かれた礎が実を結び、人口増加を続けています。人口増加率においては県下トップクラスであり、今後もこの傾向が続くと予測され、多方面で住みやすい町として注目されています。

しかし、いずれ本町にも人口減少に転じる時期が訪れます。

これから10年間は、これまでの姿を継承し、町のあるべき姿をより確かなものにしていくため、

将来像を

つむ
思いを紡ぎ、未来につなげる

まちづくり 吉岡

とします。

これまでの一つひとつの思いを紡ぎ合い、未来の住民のために町の魅力をさらに高め、今よりもっと住み続けたいまちづくりを推進します。

つむ **「紡ぐ」へ込める思い**

「糸」を紡ぐ。

まちのコレマデの 過去、歴史、伝統、先人による礎、住民や地域・民間による活動、町の取組といった“思い”

まちのコレカラの 未来、将来、夢、希望、住民や地域・民間による活動、町の取組といった“思い”

コレマデの“思い”とコレカラの“思い”全てを「糸」に見立て、一つに紡ぎ、未来につなげていく。

コレマデがそうであったように、コレカラも吉岡町をより良い姿で次世代にパトンをつないでいきたいと将来像に掲げるものです。

(2) 将来像実現のための3つのまちづくりポリシー

将来像を実現するために、すべての施策・事業に共通する3つのまちづくりポリシーを示します。

ブランド力と郷土愛

- ◆ 吉岡町の価値をあらゆる分野で向上させます
- ◆ 自らの町であり、ふるさどであるという郷土愛を育みます

ダイバーシティ

- ◆ 新旧住民、年代、性別、国籍等に、こだわらず吉岡町民として多様性を受け入れる風土を築きます

持続可能性

- ◆ 先人が築き、育ててきた、この豊かな吉岡町を、次世代により良い姿でつないでいきます

10年後に目指す 基本目標(施策の大綱)

将来像を実現するために、

次の **6つの基本目標** を設定し、
10年間取り組んで行くこととします。

なお、 **3つのまちづくりポリシー** を共通の概念として、
施策・事業の推進に努めていくこととします。

つむ 紡ぐ 1

すべての住民に優しい
健康・福祉施策の充実

子どもたちの夢を育て、ゆとりを持った子育てができる環境づくりを推進します。
子どもや若い世代の健康づくりへの意識や習慣付けを重視するとともに、高齢者や障害のある方も活き活きと暮らせるまちづくりに取り組みます。
生活習慣病や介護の予防事業を充実し、いつまでも住み慣れたまちで自分らしく暮らし続け、必要な時に必要な支援が得られるよう整備を進めます。

つむ 紡ぐ 2

「学びのまち・吉岡」の
推進

すべての子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」が実現できるよう、教育的人的・物的環境を整備し、子育て世帯に選ばれる教育のまちづくりを推進します。
住民一人ひとりが持つ文化・スポーツの技能等を活用し、生涯学習・生涯スポーツの活性化を図るとともに、郷土に学び郷土を知る取組を進めます。
多文化共生の時代にあって、差別や偏見のない、ダイバーシティのまちづくりを進めます。

つむ 紡ぐ 3

次世代につなげる
生活環境の充実

道路、公園、水道、公共施設など、多くの人が利用する公共財産を有効に活用するため、利便性の向上と長寿命化を図り、計画的な都市づくりを推進します。
また、SDGsやカーボンニュートラルの理念に則り、持続可能な社会へ貢献することを前提に、公共交通の利便性や定住環境の向上に努め、住民生活の質の向上を図ります。

つむ 紡ぐ 4

地域産業の
持続的発展支援

都市化が進み、農地の減少が進む半面、沿道立地型の商業立地が進んでいます。
農林業の持続的かつ健全な発展を図りながら、企業誘致や起業支援による若者や女性の働く場を創出します。
観光については、新たな観光資源の発掘、既存の文化遺産をはじめとした地域資源の利活用
に努め、近隣・広域での観光ルートの拠点化を進めていきます。

つむ 紡ぐ 5

緊急時対応への
備えの充実

大規模自然災害の頻発、新型コロナウイルスの発生を契機とする感染症への対策、交通量の増加など、あらゆる危機に対応できる強靱な体制の構築と、日常における防災・防犯活動の充実を図ります。
また、災害が起きても被害を最少にとどめ、受けた被害から迅速に回復するしなやかさを備えるとともに、交通事故や犯罪の少ないまちづくりを推進します。

つむ 紡ぐ 6

将来を見据えた
行財政運営の推進

自治会やボランティアへの支援など地域活動等の活性化を促進し、町政と住民がともに力を合わせた協働のまちづくりを推進します。
住民の利便性向上と業務の合理化・効率化に向けて、デジタル社会に対応したスマート自治体への転換を図るとともに、人口増加に起因する厳しい財政状況の中でも未来を担う子どもたちに負担をかけぬよう知恵と行動力で将来を見据えた堅実な行財政運営を推進します。

前期基本計画の概要

計画の体系

将来像

思いを紡ぎ、未来につなげるまちづくり 吉岡

3つのまちづくりポリシー

ブランドカと郷土愛

ダイバーシティ

持続可能性

基本目標（施策の大綱）・施策

紡ぐ1

すべての住民に優しい
健康・福祉施策の充実

- ①地域福祉の推進
- ②健康づくりの推進
- ③子ども・子育て支援の充実
- ④高齢者福祉・介護の充実
- ⑤障害者福祉の充実
- ⑥社会保障体制の充実

紡ぐ2

「学びのまち・吉岡」
の推進

- ①学校教育の充実
- ②生涯学習・スポーツ・文化活動の推進
- ③多文化共生社会の実現

紡ぐ3

次世代につなげる
生活環境の充実

- ①適正な土地利用
- ②道路・公共交通の充実
- ③環境問題への対応
- ④上下水道処理施設の整備
- ⑤住環境・公園等の維持・確保

紡ぐ4

地域産業の
持続的発展支援

- ①農林業の振興
- ②商工業の振興
- ③観光の振興

紡ぐ5

緊急時対応への
備えの充実

- ①消防・防災体制の充実
- ②防犯・交通安全対策の充実

紡ぐ6

将来を見据えた
行財政運営の推進

- ①協働のまちづくりの推進
- ②健全な行財政の推進
- ③デジタル化の推進

①地域福祉の推進

主な取組
地域福祉の推進
地域のバリアフリー※ ¹⁰ 化
ボランティア活動への支援

目標指標	令和2年度	令和8年度
生活支援体制整備事業の協議体設置数 (地域支え合いネットワーク) (箇所)	0	2
地域福祉交流施設の事業開催数 (回)	65	150

②健康づくりの推進

主な取組
住民主体の健康づくりの推進
感染症対策の強化と健康支援
医療体制の維持と適切な受診の推進
特定保健指導及び生活習慣予防教室の実施
健康増進の充実

目標指標	令和2年度	令和8年度
よしおか健康 No.1 事業の参加者数 (人)	14,031	23,000
よしおか健康 No.1 ダイヤル利用者数 (人)	386	700
特定健康診査の受診率 (%)	27.6	45.0

③子ども・子育て支援の充実

主な取組
子育て支援の充実
産前・産後のサポートの推進
保護者の経済的負担の軽減を拡充
児童虐待防止対策の推進

目標指標	令和2年度	令和8年度
保育施設の定員 (人)	820	860
学童クラブの定員 (人)	355	450
産前・産後ファミリーサポートセンター利用者数 (人)	53	60
高校生等公共交通通学支援 (件)	99	130

④高齢者福祉・介護の充実

主な取組
地域包括ケアによる健康づくりと介護予防の推進
介護サービスや高齢者支援の充実
高齢者の生きがいづくりの促進
高齢者の健康保持と講座の充実

目標指標	令和2年度	令和8年度
地域の通いの場 (サロン等) (箇所)	40	42
介護認定新規認定率 (月平均) (%)	0.29	0.20
権利擁護に関する相談件数 (件)	458	500
認知症高齢者見守り事業の利用人数 (人)	31	50
高齢者のデジタル機器活用支援 (回)	0	4

⑤障害者福祉の充実

主な取組
自己実現への挑戦の支援
地域での生活の確立
あらゆるバリアの解消
保育園受け入れ支援
適切な就学指導の充実
経済的負担の軽減の保持

目標指標	令和2年度	令和8年度
就労移行支援実利用人数 (人)	3	11
計画相談支援実利用人数 (人)	47	83
障害者理解促進研修及び啓発事業実施回数 (回)	0	2

⑥社会保障体制の充実

主な取組
医療費の助成
介護予防事業の実施
国民健康保険、介護保険の充実と国民年金の保持
生活困窮世帯への支援
健全な財政の推進

目標指標	令和2年度	令和8年度
介護予防に資するボランティアの人数 (人)	150	300
第1号被保険者1人当たり(月)の介護費用 (円)	23,074	23,000
国民健康保険税の徴収率 (%)	82.1	82.5

※10 障害のある方や高齢者などが暮らしやすくなるために、道路の段差など、障壁をなくすことです。

紡ぐ 2

「学びのまち・吉岡」の推進

①学校教育の充実

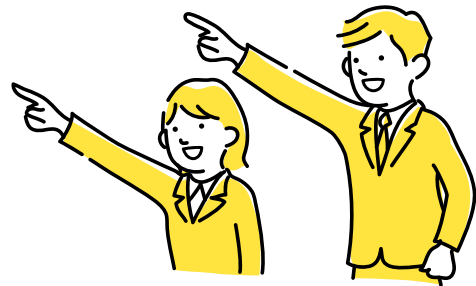
主な取組	目標指標	令和2年度	令和8年度
学校施設の計画的な整備の推進	支援員・マイタウンティーチャー数※ ¹¹ (人)	21	25
学校給食調理施設整備の推進	スクールカウンセラー※ ¹² の勤務日数 (日)	91	120
幼児教育との連携			
新しい時代の学校教育の確立			

②生涯学習・スポーツ・文化活動の推進

主な取組	目標指標	令和2年度	令和8年度
生涯学習の充実	関係講座の開催数 (回)	30	40
スポーツ・レクリエーション活動の充実	町民大会の参加人数 (人)	839	1,000
各種団体の活動支援	文化センター施設貸館利用回数 (回)	946	1,500
生涯学習施設の整備・維持管理	文化財センター来館者数 (人)	1,113	1,500
文化芸術の発信	図書館貸出し人数 (人)	34,157	40,000
町の歴史と魅力の発信			
読書推進活動事業の充実			

③多文化共生社会の実現

主な取組	目標指標	令和2年度	令和8年度
だれもが尊重される環境づくり	ゲートキーパー※ ¹⁴ 研修参加者数 (人)	未開催	120
男女共同参画社会の実現	町管理職の女性割合 (%)	29.0	30.0
DV※ ¹³ 被害者の支援体制の更なる充実	DVの防止に係る研修会の開催又は参加回数 (回)	3	5
いじめを許さない心を育む人権教育の充実			
行政情報の発信強化			



※¹¹ 小中学校における児童生徒の学習を補助する学習支援指導助手のことです。

※¹² 学校や家庭で不安を抱えている子どもや保護者に対して、面談などを通じて支援する心の専門家です。

※¹³ 「Domestic Violence」の略称で、配偶者やパートナーなど親密な関係にある、又はあった者から振られる身体的暴力、精神的暴力、性的暴力、経済的暴力を指します。交際中のパートナー間でおこる暴力をデートDVと言います。

※¹⁴ 悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のことを言います。

紡ぐ 3

次世代につなげる生活環境の充実

①適正な土地利用

主な取組
計画的な土地利用の推進
計画的な産業用地の確保
農業振興地域整備計画に基づくまちづくりの推進

目標指標	令和2年度	令和8年度
地籍調査事業進捗率	(%) 11.78	15.54
用途地域の面積	(ha) 144.6	164.6
農業振興地域内の農用地面積	(ha) 470.0	411.0

②道路・公共交通の充実

主な取組
都市計画道路の整備
道路の整備と維持管理
橋梁の計画的な維持補修工事
公共交通システムの拡充

目標指標	令和2年度	令和8年度
都市計画道路延長	(m) 10,950	11,370
町道の舗装率	(%) 75.66	77.14
町道の改良率	(%) 71.33	72.67
タクシー運賃等助成制度利用者数	(人) 206	300
公共交通利便性向上に資する実証実験等取組事業数	(件) 未実施	1

③環境問題への対応

主な取組
ごみ減量化の促進及び施策の充実
気候変動対策の普及促進
自然保護活動及び道路愛護活動の推進
環境保全の周知徹底

目標指標	令和2年度	令和8年度
資源ごみ集団回収量	(t) 255.5	470
住宅用太陽光発電システム設置整備に関する補助	(件) 32	50
臭気測定基準値以上の箇所	(箇所) 0	0

④上下水道処理施設の整備

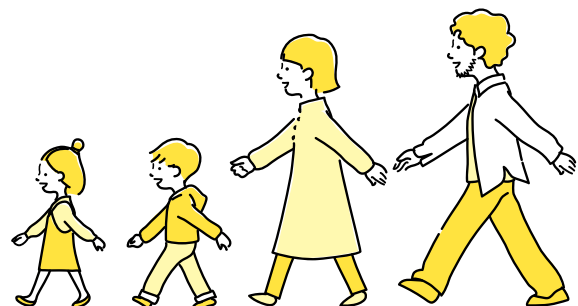
主な取組
安全・安心で安定した水道水の供給
公共下水道事業の推進
農業集落排水事業の今後
合併処理浄化槽設置への支援

目標指標	令和2年度	令和8年度
上水道の有収率	(%) 86.5	89.0
公共下水道の整備率	(%) 57.7	81.3
合併処理浄化槽設置数	(基) 813	923

⑤住環境・公園等の維持・確保

主な取組
ひとつと、環境にやさしい住環境整備の推進
高齢者が住みやすい家づくり
公園の整備
八幡山公園の拡張を検討

目標指標	令和2年度	令和8年度
町有建築物の耐震化率	(%) 97.9	100 (R6)
1人あたり都市公園等面積	(㎡/人) 5.7	6.9 (R12)



紡ぐ 4

地域産業の持続的発展支援

①農林業の振興

主な取組
人・農地プランの実質化
農地の利用状況調査と農地中間管理機構の活用
儲かる農業への転換を支援
森林経営管理制度※ ¹⁵ の運用促進

目標指標	令和2年度	令和8年度
担い手への農地集積率 (%)	14	30
遊休農地 (%)	3	3

②商工業の振興

主な取組
企業誘致の推進
大規模店舗と小規模店舗との共存
経営革新・起業等の事業者支援
就職・再就職の支援
雇用の場の創出

目標指標	令和2年度	令和8年度
誘致企業数 (件)	0	5
小規模事業者数 (件)	527	527
創業支援件数 (件)	5	5
無料職業紹介センターによる就職採用率 (%)	88	95

③観光の振興

主な取組
情報発信の拡充
道の駅よしおか温泉の魅力向上の促進
広域観光エリアでの誘客の促進
来訪者ニーズへの対応強化
名産品のさらなる磨き上げと発掘

目標指標	令和2年度	令和8年度
町ホームページの「観光」ページ閲覧数 (延件)	未実施	3,150
道の駅来場者数 (人)	268,000	420,000
広域でのイベント出展回数 (回)	2	3
群馬県優良県産品制度への出展品数 (品)	4	7

紡ぐ 5

緊急時対応への備えの充実

①消防・防災体制の充実

主な取組
国土強靱化地域計画に基づく整備事業
防災基盤の充実
自主防災組織への支援の充実
消防団の消防力向上
啓発活動の強化
災害時避難行動要支援者名簿制度の周知及び登録促進

目標指標	令和2年度	令和8年度
災害協定の締結数 (個)	28	35
自主防災組織による防災訓練の実施回数 (回)	4	13
消防団訓練の回数 (回)	1	6
防火啓発活動や住宅用火災警報器の普及啓発活動の回数 (回)	1	4
災害時避難行動要支援者名簿の登録人数 (人)	364	400

②防犯・交通安全対策の充実

主な取組
学生に対する交通安全教育
高齢者への情報発信の強化
防犯対策・啓発活動の活発化
消費生活相談の充実と意識向上の促進
交通安全対策の充実

目標指標	令和2年度	令和8年度
交通安全教室 (回)	1	2
自動車誤発進防止装置設置費補助 (件)	4	6
防犯カメラ設置台数 (台)	52	76
特殊詐欺被害対策電話機等購入費補助 (件)	8	15
通学路安全対策実施箇所 (箇所)	4	5

※ 15 適切な経営管理が行われていない森林を市町村に集約し、市町村による直接管理や意欲と能力のある林業経営者への委託等により、林業の成長産業化と森林の適正な管理の両立を図る制度のことです。

紡ぐ 6

将来を見据えた行財政運営の推進

①協働のまちづくりの推進

主な取組
自治会活動の支援を促進
ボランティア活動の支援を促進
行政情報の共有化
町政参画機会と情報公開の促進
官民共創の推進

目標指標	令和2年度	令和8年度
自治会連合会に係る研修会又は講演会 (回)	1	2
ボランティア活動の従事人数 (人)	462	550
パブリックコメント実施数 (件/5年)	7	25
附属機関等の公募委員の割合 (%)	2.0	5.0
附属機関等の女性委員の割合 (%)	24.5	30.0
包括連携協定の締結数 (件)	3	10

②健全な行財政の推進

主な取組
健全財政の維持
行政改革の推進
公共施設の効果的・効率的な管理運営
広域行政の連携強化
友好都市間の交流拡充と新たな提携への取組

目標指標	令和2年度	令和8年度
経常収支比率※ ¹⁶ (%)	89.4	89.0
ふるさと納税 (万円)	1,266	3,000
テレワーク利用者数 (人)	未整備	20
一般税の徴収率 (%)	97.1	97.5

③デジタル化の推進

主な取組
自治体DXの推進
わかりやすい情報発信

目標指標	令和2年度	令和8年度
コンビニ交付の利用者数 (人)	未整備	3,500
フリー Wi-Fi の整備箇所数 (箇所)	5	8
マイナポータル※ ¹⁷ による申請手続数 (件)	0	35
ぐんま電子申請による申請手続数 (件)	0	5
SNS 取組数 (種類)	0	2
町ホームページの閲覧数 (延件)	約88万	100万

参考

アンケート

概要			
対象	町内居住 16 歳以上の住民 2,500 人を無作為抽出	調査期間	平成 30 年 11 月～12 月
回答結果	回答者数 1,235 人 (49.4%)	設問	22 問 (町の現状評価、定住意向、期待するまちづくりの方向、各分野における施策要望等)

ワークショップ

ワークショップ	開催日	テーマ 住みたくなる・住み続けたい吉岡町をめざして	参加者
住民	令和 2 年 10 月 26 日	「現在の吉岡町」	19 人
	令和 2 年 11 月 13 日	「地域産業・観光・教育・文化」について	17 人
	令和 2 年 12 月 7 日	「福祉・健康・生活環境」について 自治会推薦 ※年代・性別・役職問わず	14 人
団体	令和 3 年 3 月 5 日	「これからのまちづくり」について	15 人
		健康・福祉・教育・文化・スポーツ・住民活動・商工農業・消防・交通・防犯分野代表	
中学生	令和 3 年 6 月 14 日	「10 年後、中学生が住み続けたい吉岡町」について	19 人
		生徒会役員・学級委員等の 3 年生	

※ 16 経常的な経費（人件費、扶助費、公債費など）の支出のために経常一般財源収入がどの程度使われているかを示すもので、財政の弾力性を図る指標です。比率が高いほど財政の硬直化が進んでいることを表し、80.0%以内が望ましいとされています。

※ 17 政府が運営するオンラインサービスです。子育てや介護をはじめとする行政手続の検索やオンライン申請がワンストップで行え、お知らせを受け取ることができる自分専用サイトです。



思いを紡ぎ、未来につなげるまちづくり 吉岡

第6次吉岡町総合計画 概要版

発行 吉岡町

住所 〒370-3692

群馬県北群馬郡吉岡町大字下野田560番地

T E L 0279-54-3111

U R L <https://www.town.yoshioka.gunma.jp/>

発行年月 令和4年3月
